

商店街名:名古屋広小路まちづくり協議会(栄町商店街振興組合、広小路商店街振興組合、東新商店街振興組合、新栄商店街振興組合、広小路中央商店街振興組合、広小路名駅商店街振興組合、広小路西通一丁目商店街振興組合)
【名古屋市、平成 28 年度指定】

1 活性化モデル商店街の概要

●キャッチフレーズ

広域的回遊性の高いメインストリート

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

- ・本協議会の範囲は笹島交差点から広小路葵交差点まで約 3,100m に及び、名古屋の核となる名古屋駅地区と栄地区を一つに結んでいる。
- ・区域内には百貨店を始めとした商業施設や文化会館が集積する一方で、飲食店や日用品店、金融機関、企業のオフィスなど立地しており、生活・娯楽・交流の場として、日々あらゆる層の人々が行き交っている。

【課題】

- ・名古屋駅地区においては、リニア新幹線の開通を見据えた社会的インフラの整備検討や超高層ビルの建築ラッシュなどが進んでおり、同地区への一極集中による栄地区及び中間に位置する伏見・納屋橋地区の集客力低下が懸念されている。
- ・名古屋駅地区に対抗するためには、各個店の自助努力のみでは限界があるため、協議会として広小路通一帯の活性化を図るための取組を展開していく必要がある。

【対策】

名古屋駅地区から栄地区に至るまで、広小路通一帯の空間的魅力を高めることで広域的回遊性を向上させ、名駅地区から東方面への集客力を高める取組を行う。

- ・広小路通沿いをイルミネーションで装飾することで、歩いて楽しい空間を創出し広域的回遊性を高める。
- ・イルミネーションマップの作成及び配布を行うことで、広範囲に渡る協議会の全エリアに足を運んでもらえるように工夫する。
- ・地元商店街のイベント(広ぶら芸ぶら文化祭)と連携して点灯式を実施することにより、より知名度を高める試みを行う。

◎具体的に取組む事業内容

○広小路エクスプレスイルミネーション事業(28年度~32年度)

- (1) イルミネーション点灯式の開催
- (2) イルミネーション装飾の実施
- (3) イルミネーションマップの作成及び配布
- (4) イルミネーションに合わせた販売促進の取組み

2 活性化モデル商店街の実績・成果等

◎商店街の将来ビジョンの実績

広小路エクスプレスイルミネーションを実施することで、広小路通沿いの複数の商店街が協力することができ、広小路通全体をイルミネーション装飾で彩ることができた。これにより、広小路通を歩く人が増え、各商店街独自の取り組みのみでは成しえなかった広域的な事業となることで広域的な回遊性が高まったと言える。

◎事業実績

○広小路エクスプレスイルミネーション事業（H28年度～R2年度）

- (1) イルミネーション点灯式の開催
- (2) イルミネーション装飾の実施
- (3) イルミネーションマップの作成及び配布
- (4) イルミネーションに合わせた販売促進の取り組み

◎事業の効果

広小路エクスプレスイルミネーションは、愛知県の観光サイト（Aichi Now）等にも取り上げられており、広小路通の知名度向上に寄与していると言える。

◎新型コロナウイルス感染症を踏まえて取組んだこと

屋内での事業であるイルミネーションが主事業であるため、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった令和2年度も、イベント自体は点灯式含め実施することができた。

◎その他の成果

- ・市内随一の目抜き通り沿いに点在する商店街同士が連携できるような事業を実施しており、中心地からの活性化に寄与していること。
- ・愛知県の観光サイトにも取り上げられる等、商店街の単なる事業から、観光資源としても機能しており、地域外の来街者を招くことに成功していると思われること。



（広小路エクスプレスイルミネーション）